



# 北海道 造形教育 連盟報

No.145 2017.12.10発行

発行 北海道造形教育連盟

会長 阿部時彦 (札幌市立員内中学校長)

事務局長 東 尚典 (札幌市立有明小学校長)

事務局 札幌市立有明小学校

〒004-0821

札幌市清田区有明141-2

TEL(011)881-2949・FAX(011)881-9074

北造連HP <http://hokuzou.kir.jp>



## 第67回全道造形教育研究大会釧路大会を終えて

第67回全道造形教育研究大会釧路大会実行委員長

釧路造形教育研究会 会長 小野 三枝子

(釧路市立共栄小学校長)

釧路にしてはめずらしく夏らしい一日となった7月27日、皆様のご協力で第67回全道造形教育研究大会釧路大会を無事開催できました。大会研究主題を「わたしをつなぐ造形活動の時間」とし、子どもの想いを豊かに育み「わたしを創る」ため、「学びをつなぐ」「思いをつなぐ」「他者をつなぐ」の3つの視点で授業改善を構想しました。研究部長を中心に試行錯誤しながら授業づくりの話し合いを進め、本番に臨んだところです。想定したとおりに授業が進んだかどうかはさておき、提案性のある授業を公開できたのではないかと考えています。また、各分科会において様々なご意見をいただき、充実した研究協議とな

ったことも大きな成果です。岡田京子氏による講演も大変好評で、新指導要領の趣旨理解や図工・美術の授業のあり方を考えるよい機会となりました。本大会での成果を踏まえ、造形教育の大切さを広げていくことが今後の私たちの課題だと考えています。

ご支援いただいた北海道教育委員会をはじめ関係機関各位、本部役員及び講演・助言をいただいた方々、参加各位、そして大会準備運営に携わった実行委員の皆様方に心より感謝申しあげ、釧路大会終了にあたってのお礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。



# 第67回全道造形教育研究大会 釧路大会

大会テーマ・研究主題 **わたしをつなぐ造形活動の時間**  
～想いを豊かに育む造形活動の展開～

## 釧路大会を振り返って

研究大会 研究部長 更科 結希  
(北海道教育大学附属釧路中学校)

今年度の全道造形教育研究大会釧路大会の開催にあたり、多くの先生方をはじめ関係機関の皆様にご参加いただきましたことに御礼申し上げます。大会に向け、事前より各地区の先生方には試行授業の参観や多くの御助言をいただきながら研究を進めて参りました。釧路地区は少ない会員のため、皆様方には折に触れ「いつでも助けるからね」と声をかけていただきました。心から、多くの地区の皆様にご支えられた大会であったことを実感しております。本当にありがとうございました。

## 幼稚園 年長

### ぼくたち わたしたち の よしの園の一日

加藤 史絵・澤原 大 (認定こども園よしの)



#### 参加者の声

#### 分科会記録から

子どもたちに、どんなことを描きたいか？思いが膨らむように、たくさんのお話を聞きながら、絵にしていることが伝わってきました。絵を描き始めた子どもに、自信がもてる声掛けが大事なんだなあ、と感じました。分科会で話された、一人一人に声掛け「お花はどうやったら描けるんだろう？」という声があれば、図形を組み合わせて描けるような簡単なアドバイスしているという話がとても印象的でした。

## 小学校 2年 / 造形あそび ようこそ！光の国へ

若林 巨 (釧路市立鳥取西小学校)



#### 参加者の声

阿部 孝彦 (釧路市立桜が丘小学校)

- ・教材として使用していた、ビニールシートの準備は大変だったと思うが、ひとりひとりに十分な量があり、子どもたちが生き生きと活動することができたように思う。
- ・子どもたちは、活動をしながらかの友だちと交流をしていたが、あえて、交流の場を作ることで、日常の学習の中に生かされていることが、子どもたちの集まり方や座り方、話の聞き方からも感じられた。
- ・指導していた若林先生のどんな時も子どもの作品を肯定的に見る姿勢は大変良かったと思います。

## 小学校 6年 / 表現・鑑賞 絵で表す ことばから広がる世界

日野 道子 (釧路市立武佐小学校)



#### 参加者の声

金子 里奈 (幕別町立幕別小学校)

道徳の学習からスタートし、「生きる」という言葉をじっくり見つめた、6年生にぴったりの題材だと思いました。それぞれが考える「生きること」や言葉にならない思いを色と形で表現する過程はとても面白く、子どもたち自身もその違い(個性)を味わい、楽しんでいるように見えました。グループの中で「こうしたらいいんじゃない？」というやりとりもじんわりと効いているように思いました。大きく、広いテーマだけに、表現するものの大きさやスタイルにも幅をもたせると、もっとそれぞれの「生きる」が伝わるものになるのではという期待もてる授業だったので、夏休み明けの完成に向けて、更に工夫を加えながら子どもたちが「これだ！」と思える作品に仕上げたいと思っています。

小学校 6年 / 表現・鑑賞 立体で表す  
名画の中に入ってみたら

高野 恵輔 (釧路市立共栄小学校)



参加者の声

中澤 孝仁 (岩見沢市立中央小学校)

名画のパーツを分解し、前後に配置させることにより立体感を表す題材。題材名の通り、子どもたちは目線を下げ、あたかも自身が名画の中に入ったかのように楽しんで制作していた。名画の世界を体感?できるところがシャドーボックスとはひと味違う。グループ内の試行錯誤も活発で、対話も深まっていた。高野先生お疲れ様でした。

中学校 1年 / 表現・鑑賞 デザイン  
和をつなげよう

橋本 加会 (釧路市立共栄中学校)



参加者の声

藤原 賢 (富良野市立樹海中学校)

授業をみて、透明クリアファイルの使い方がおもしろいなーと思いました。また他の生徒に自分のアイデアを考えさせるのも斬新だと感じました。

しかし、ここ、こうやって変えてみたらどうだろう?というのもあり、見せていただき大変刺激をうけました。ありがとうございました。

受付記録など運営していた先生方、お世話になりました。また、来年会いましょう!

中学校 2年 / 表現・鑑賞 立体で表す  
一歩踏み出すための靴

更科 結希 (北海道教育大学附属釧路中学校)



参加者の声

菅野 裕子 (日高町立富川中学校)

題材名に心踊りました。それは、参観者の私だけでなく、授業に参加する生徒達もだろうと思います。先生の、よく練られたシンプルな言葉ですっきりと生徒に伝えていく姿や、生徒が日頃から美しい視覚資料に触れられる工夫を、真似したいと思いました。どんな題材も、教師の工夫次第で、生徒が豊かに心象表現できるものになるのだと感じました。

高等学校 3年 / 映像メディア表現

「ことばのイメージ」を動かす~ミニマル・アニメーション~ 上野 秀実 (北海道釧路江南高等学校)



参加者の声

武蔵 恒一 (北広島西高等学校)

上野先生との信頼関係ができている生徒さんたち。先生とのやりとりがとても微笑ましく、落ち着いた答弁にも、あたたかいものが感じられました。事前の細かな設定や計画、幅広い分野での研究があつての授業かと思います。授業の時間もタイトで同じ内容を50分間におさめられるか自信がありません。日常の自分の授業を振り返ることができました。この単元全体を参観できたらなあ、と思いました。

# web Library ~北海道造形教育連盟の財産~

URL <http://hokuzou.kir.jp/kinen.html>



今年で67年を迎える北海道造形教育連盟。全道各地に19の地区サークルがあり、それぞれの地域で造形教育に関する研究を深めています。また、全道を5ブロックに分け研究大会が行われています。たくさんの方が集い、図工・美術教育が子どもの心を育む重要な教科であることを確かめてきました。これまで研究を通して蓄積された財産は、それぞれの大会で発行される研究紀要、収録などにしっかりと記載されてきました。そこで、今まで発行された、さまざまな発行物を整理し、WEBから検索できるようにしました。発行された冊子はPDFデータとして、閲覧できるようになっています。ぜひ、ご覧いただきたいと思います。

- 研究大会の研究紀要・研究収録
- 周年行事に発行された記念誌
- 北海道教育美術展の周年記念誌
- 連盟報

この4つの発行物が掲載されています。保存されていないものもありましたので、お手元に掲載されていない資料をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせいただきたいです。



## 第44回 北海道教育美術展

詳しくは、ホームページをご覧ください。  
(<http://hokuzou.kir.jp/>)

審査会：12月27日(水)・28日(木)  
 展覧会：1月11日(木)～14日(日)  
 会場：道新ぎやらりー及び道新DO-BOX  
 (札幌市中央区大通西3丁目)

## 函館市美術教育研究会

研究部長 佐々木 壮一 (函館市立深堀中学校)

函館市美術教育研究会では、学習指導要領の改訂に向け、研究主題を見直し推進計画を作成しているところです。本年度の活動では、昨年度に引き続き、美術館との連携を深めて活動しています。特に、アートカードを利用した授業づくりでは、昨年度函館・渡島を合わせ、4本の公開授業を実施することができました。単年で終わらせず、継続することによって、より地域性を生かした授業づくりが出来ればと考えております。授業には、函館美術館の学芸員に毎回足を運んでいただき、その都度、授業づくりに生かせるような意見交流ができています。その交流では、次回の函館大会に向けて、美術館の収蔵品を使った授業の展望などの話も出ており、夢が膨らむばかりです。また、本年度その他の活動としては、市内のデパートを借りての児童生徒展覧会の実施や版画をテーマとした美技講習会の開催など、活発な活動ができています。これからも夢のある造形活動、そして、地域と一体となった美術教育を目指して、サークル活動の活性化をしていきたいと考えております。



### あ と が き

今年も雪の季節がやってきました。朝陽に輝く真っ白な景色はとても美しく感じます。雪の降る地域でなければ実感できない感動ですね。

さて、釧路大会ではたくさんの授業実践を通して、多くを学ぶことができました。全道各地からお集まりいただいた皆様のおかげで、造形教育の価値を改めて感じることができました。この思いを、次期、空知・岩見沢大会へとつなげていけるよう願っています。最後に、連盟報の発行にあたり、原稿の執筆などたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。

<北海道造形教育連盟 広報部> 佐藤 和音・小林 知広・(櫻田 悟)